

酪農宮崎

令和4年9月30日 印刷
令和4年10月1日 発行

編集人:立山行広
発行所:宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県経済農業協同組合連合会
電話(0985)31-2100
<http://www.kei.mz-ja.or.jp/>
印刷所:宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.611
2022年10月



「酪農危機を突破するための全国酪農民緊急特別集会」(詳細はP7)

10月号目次

酪農情勢報告	1
ルーツを訪ねて!	2
感染症防疫資材共同管理倉庫	3
農場防疫:交差汚染対策	4
酪農家戸数・頭数調査の報告	5
10~12月期 配合飼料価格改定	6
全国酪農民緊急特別集会	7

牛乳料理／デーリィ牛乳広告	8
農学部ナンノ教授のひとりごと	9
全酪連広告	10
全農広告	



MILK UP!
プロジェクト

経済連HP

酪農情勢報告

1.生乳生産動向

令和4年9月15日現在

指定団体	8月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	347,289	99.9	1,757,210	101.0
東北	41,147	99.9	212,611	99.8
関東	83,861	100.5	448,573	100.7
北陸	5,861	101.5	31,028	99.5
東海	24,793	95.9	135,077	98.1
近畿	11,356	96.1	62,053	98.3
中国	22,967	96.5	124,048	99.3
四国	8,194	97.6	44,940	99.8
九州	44,199	93.1	245,511	97.0
(内、宮崎)	5,286	94.1	29,572	98.8
都府県	242,377	97.8	1,303,841	99.3
合計	589,666	99.0	3,061,051	100.3

2.販売状況

令和4年9月15日現在

用途	区分	8月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	258,216	98.3	1,329,381	97.9
	九州	31,939	95.9	176,119	97.8
はっ酵乳等	全国	39,346	100.5	195,854	98.7
	九州	7,438	101.9	36,704	99.0
特定乳製品	全国	147,256	98.2	796,880	103.1
	九州	2,482	54.9	20,504	86.7
生クリーム	全国	107,225	99.3	545,818	101.1
	九州	2,245	99.3	11,703	100.0
チーズ	全国	37,623	105.3	193,118	105.1
	九州	95	99.8	480	100.4
合計	全国	589,666	99.0	3,061,051	100.3
	九州	44,199	93.1	245,511	97.0

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3.生乳出荷量別生産者戸数 8月

生乳出荷量		戸数	
100t以上		7戸	
80t以上	～	100t未満	2戸
60t以上	～	80t未満	3戸
40t以上	～	60t未満	21戸
20t以上	～	40t未満	72戸
10t以上	～	20t未満	57戸
10t未満		34戸	
合計		196戸	
最高出荷量		153t/月	
平均出荷量		27t/月	

4.トピックス

生乳需要低迷続く！

9月中旬に襲来した台風14号・15号でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被害に見舞われた本県酪農家をはじめ多くの農業者・住民の方々に心よりお見舞い申し上げます。本県におきましては、停電・断水等、ライフラインが寸断されいろんな所に影響を及ぼしました。また、台風15号でも本州、特に静岡県では多くの方のライフラインが寸断、土砂災害も多く発生する危険性があるなど、甚大な被害をもたらしました。本県酪農家でも、停電・断水による検査不合格での生乳の廃棄14t、その他、牛舎等の破損、自給飼料の倒伏等の被害を受けました。集送乳においては、倒木による進行不能となり1件が集乳不可となりましたが、その他は無事にすべて集乳・出荷出来ましたことに、酪農家・関係機関の皆様に感謝申し上げます。また、ミルコでは、断水によりミルコの稼働に支障をきたしましたが、物流みやざきさんの給水により、何とか通常業務ができました。他にも水の供給作業を買って出てくださる業者さんもあり感謝申し上げます。誠にありがとうございました。酪農宮崎でも度々災害の備えをお願いしておりますが、改めて重要なことと再認識させられた次第であります。

9月といえば需要期真っただ中ということで、毎年生乳の逼迫が心配されるところでありますが、今年も需給は低迷しておりました（昨年は長雨の影響）。今後、入国者の上限撤廃や全国旅行支援の開始などで経済が回り、業務用牛乳の需要増も期待できるものの、11月からの価格改定により幾つかの消費減退が危惧されており、年末年始の処理不可能乳発生の心配が再燃してまいりました。その結果、年末年始の処理不可能乳発生回避に向けた取組み強化策として、低能力牛の早期淘汰事業の要件緩和と目標頭数の増が決まりました。需要回復には、乳製品在庫の積み増しと処理不可能乳発生は是が非でも回避したいところですので、皆様のご協力をお願いいたします。一方で、今年度から取り組んでおります脱脂粉乳過剰在庫削減対策の対象数量が25,000tから35,000tに引き上げられました。円安や海外乳製品相場の高止まりから当初対象数量以上の置き換えが可能となり、在庫削減の動きが加速しました。上述の低能力牛の早期淘汰事業と乳製品在庫解消により、乳業メーカーさんの負担も軽くなり、需給が少しでも早く改善できますよう、これから不需要期入っていきますが、消費拡大運動など連携を図り、この難局を乗り越えていきましょう。

一繰り返すその努力があなたの自信、あなたの儲けです－

酪農課 今井 弘高

ルーツを訪ねて！「老牧夫回想録」より(高橋照次著)

ニュージーランド、オーストラリア酪農見たまま聞いたまゝ(報告)

一九六八年十二月

宮崎県酪連参事 高橋 照次

ニュージーランド酪農見たまゝ聞いたまゝ

まえがき

このたび、デーリージャパン社主催、雪印乳業、森永乳業後援の、ニュージーランド、オーストラリア酪農視察団に参加する機会を与えられた。

今迄度々欧米視察旅行等に外部から勧誘が推薦をいたしましたが、私の置かれている環境を考え、小林市議会議長当時(三十六年二月)沖縄で開催された九州沖縄市議会議長会の役員会の折、沖縄に渡ったのが戦後における唯一の海外旅行で、その外はすべて遠慮して來た。

今回は過去三年間取り組んだ南九州三県の市乳価格差是正も、安形各方面の絶大な御努力と、行政御当局並びに報道機関や消費者の皆さんとの温かい御理解により円満解決し、又会務に於ても役職員各位の御努力によって略、諸懸案が片付いたので、此の機会に世界で最も安く牛乳乳製品を生産しているニュージーランドの酪農の実態に触れ、将来の国際酪農の中で宮崎県酪農の伸びる道を研究させていただくことにした。出発に当り、各方面から望外の御厚志を忝うし恐縮に堪えないと同時に責任の重さを痛感させられる。

幸い今回の旅行には、地球を二十一周しニュージーランドにも既に三回行って居られる雑誌「旅」の前編集長で評論家の戸塚文子先生に特に団長兼ガイドさんになっていただくことができ、アシスタントには海外旅行の経験も豊富な石川昌敏さんが居られたので、専門的事項についてもかなり突っ込み得たようと思うが、説明をきいたり、この目で確かめたり、カメラを三個も駆使したり、少し欲張り過ぎたので、記事にまとめて見ようすると不十分なことが多いけれど、一つは私自身の備忘録として、一つは宮崎県酪連を始め御後援いただいた各方面への報告を兼ねて、少し冗長になるかも知れないが、見たまゝ、聞いたまゝに抽文を連ねることとした。

内容は特に数字等については、域は正確を欠いたり、聞き違いがあるかも知ないので、若し誤りがあれば御叱正を得たい。

この抽い報告が多少となりとも宮崎県酪農の振興と日本酪農の健全なる発展安定に日夜御努力いただいている指導者の方々のご参考にしていただけるなら望外の幸である。

一九六八年十二月八日(大東亜戦争開戦二十七周年記念日)

宮崎県酪農業協同組合連合会 参事 高橋 照次

第一篇 ニュージーランドの概貌

一、地勢・気候等

①位置 南緯三十四度～四十七度、東經一六度～一八〇度北半球の日本と同じような位置に、クック海峡を挟んで北島と南島に分かれている。

②面積 二六七、八四七平方糠で日本の7/10、(九州を除いた日本に匹敵)

その1/3は山と湖と森で、三、〇〇〇m以上の峯が二二〇以上もあり、高い山の大部分が南島の西脇がん寄りに偏在し、そこには氷河も多い。

③気候 北島で年平均一五°C、雨量は多いが略々四季平均している。但し、南島では稍々季節差が多い。雨が四季ほぼ平均していること、火口湖(低地でも多いが特徴)が多いので川の氾濫等はない。

感染症防疫資材共同管理倉庫が整備されました

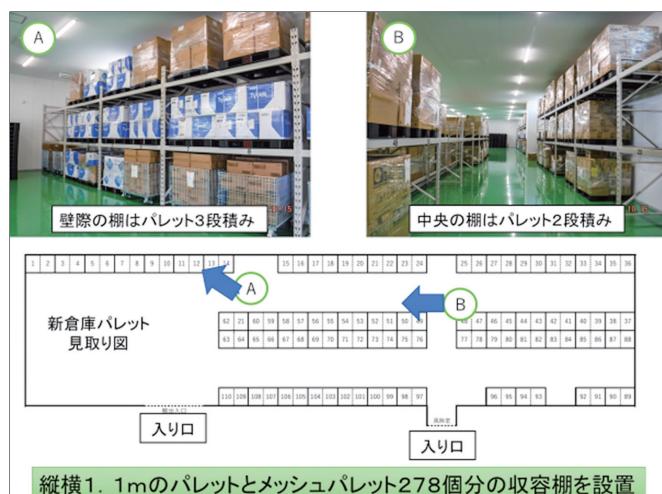
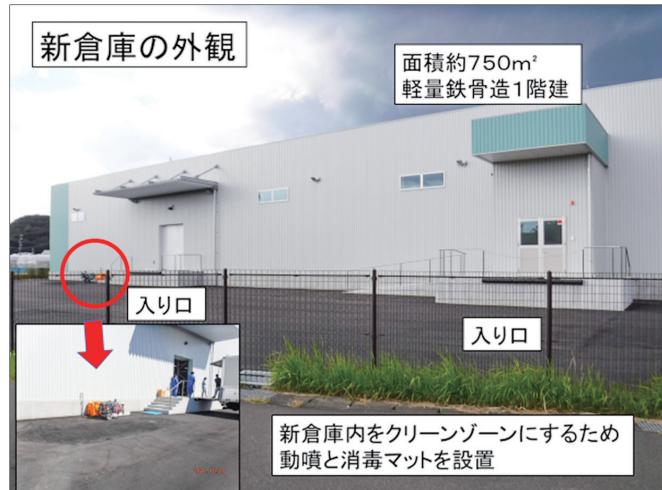
宮崎家畜保健衛生所

●酪農家のみなさまには日頃から本県の家畜防疫の推進に対してご理解、ご協力をいただきありがとうございます。県では、新型コロナウイルス感染症対策と、家畜防疫対策で共用する資材を備蓄する倉庫を福祉保健部及び農政水産部と共に令和3年9月に整備しました。今回は、この備蓄倉庫について紹介します。

●場所は、県央部で高速道路へのアクセスが良いこと、宮崎家畜保健衛生所に近く、日頃の管理業務を実施しやすいことから宮崎市佐土原町にある総合農業試験場の旧肥飼料検査所跡地に建設しました。

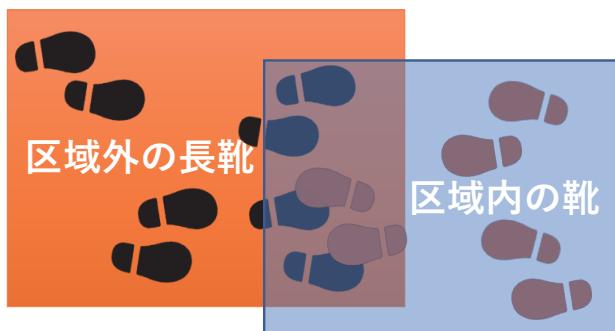
●倉庫は面積約750m²の軽量鉄骨造1階建で、入り口はトラック搬出用と人用の2か所あります。新倉庫内には縦横1.1mのパレット278個分の資材を収納することができます。現在、倉庫には、約10万羽規模の鳥インフルエンザ発生に対応可能な防護服やマスクなどの防疫資材が備蓄されています。これらの資材は、口蹄疫などの他の家畜伝染病発生時にも使用します。資材の移動には、パレットごと運搬できるハンドフォークリフトとハンドリフトを使用するため、資材搬出の労力や時間の大幅軽減が期待できます。

●本県では平成12年と平成22年の2回、口蹄疫の発生がありました。現在でもアジアでは台湾とフィリピンを除くほとんどの近隣諸国で発生が継続しています。この倉庫の整備により、口蹄疫等の家畜伝染病が発生した際の迅速な防疫対応の一助となることが期待されます。酪農家のみなさまにおかれましても自分の農場は自分で守るために、常々危機の意識を持って一般的な衛生管理の徹底をお願いします。



農場防疫：交差汚染対策

車両や人の消毒、履き替え着替えは農場の防疫で重要ですが、せっかくの対策も、交差汚染が発生していたら台無し！アイデアを発揮して、農場で実践してみましょう！



交差汚染とは
汚染度の高いものと低いものが
接触することによって起こる汚染！

交差汚染を防止するためには、
着替え履き替え前後のものが
触れないように
動線を決めることが大事です！



牛舎入口
踏込消毒槽と手洗・手指消毒を
動線にあわせて
設置



スノコを使って
仕切り、履き替え。
外と中とで
長靴の色を変え
てます。
スノコの代わり
にリフトパレット
活用もあり



車両消毒ゲートに付設されている着替・履替スペース
スペース内部に立入記録簿・手指消毒・噴霧装置が設置



採集コンテナを裏返し
て並べて履き替えの仕
切り。椅子代わりとし
て長靴を座って履ける

◆宮崎家畜保健衛生所 0985-73-1377
(日南駐在) 0987-64-2212

◆都城家畜保健衛生所 0986-62-5151
(小林駐在) 0984-22-7701

◆延岡家畜保健衛生所 0982-32-4308
(高千穂駐在) 0982-72-2511

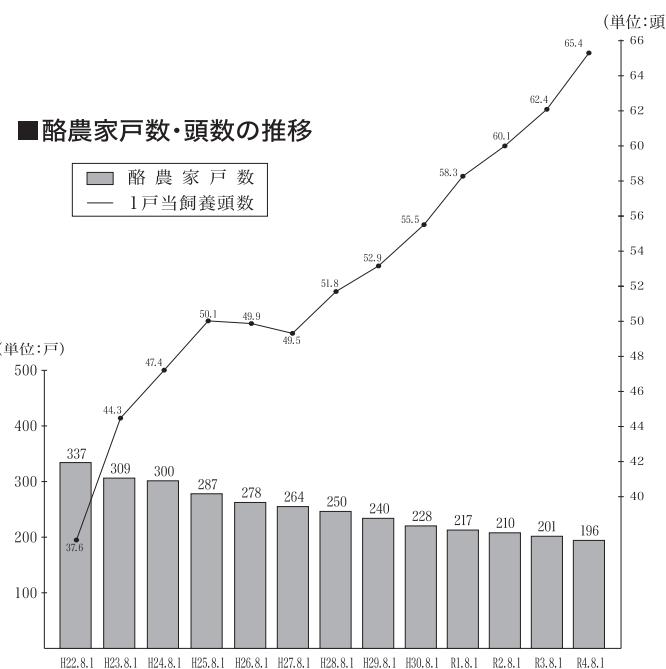
予算もあまりかかりず、面倒でなく、効果的な
農場防疫対策のアイデアを募集しています！
皆様の御協力お願いします。

酪農家戸数・頭数調査(令和4年8月1日現在)

酪農家戸数196戸

令和4年8月1日現在の酪農家戸数は、196戸(前年比97.5%)、乳牛総頭数は12,826頭(前年比102.3%)、経産牛頭数は8,810頭(前年比98.4%)となっています。1戸当たり総頭数は65.4頭で前年より3.0頭増加しています。

今年度は現在4戸の酪農家が廃業しました。酪農廃業の主な理由は、体調不良による廃業が2戸、傷病による廃業が1戸、第三者への経営移譲による廃業が1戸でした。

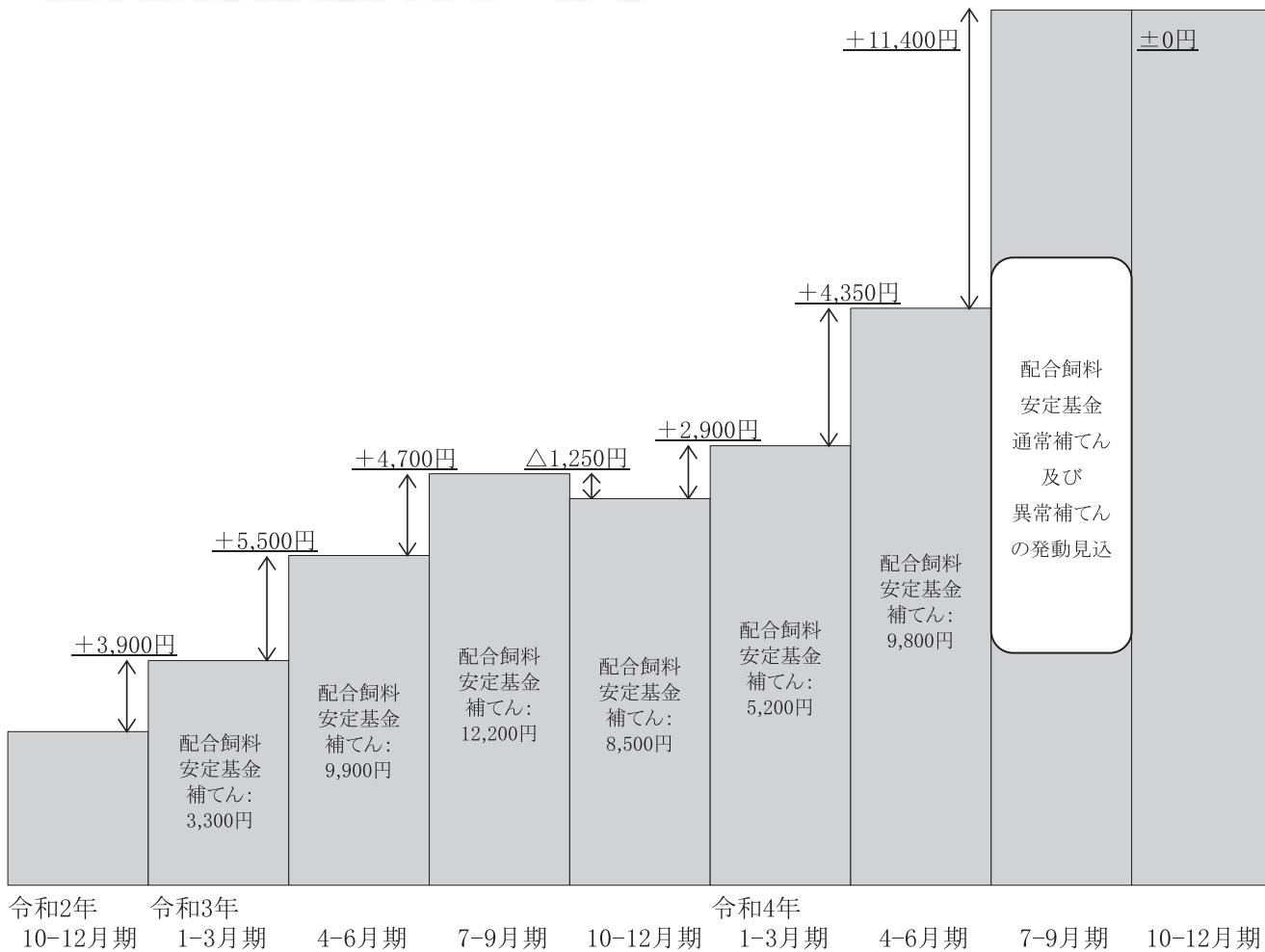


酪農家戸数頭数調査

(令和4年8月1日)(単位:頭)

項目 農協名	酪農家戸数	乳牛総頭数	一戸当総頭数	経産牛頭数	一戸当経産頭数	搾乳牛頭数	乾乳牛頭数	初妊牛頭数	育成牛頭数
こばやし	34	1,612	47.4	1,111	32.7	950	161	161	340
えびの市	10	647	64.7	414	41.4	356	58	71	162
計	44	2,259	51.3	1,525	34.7	1,306	219	232	502
都城	91	5,249	57.7	3,784	41.6	3,262	522	524	941
南部酪	19	1,258	66.2	875	46.1	730	145	121	262
計	110	6,507	59.2	4,659	42.4	3,992	667	645	1,203
尾鈴	12	928	77.3	672	56.0	554	118	78	178
児湯	7	893	127.6	553	79.0	475	78	86	254
西都	6	1,118	186.3	624	104.0	548	76	102	392
宮崎中央	3	414	138.0	318	106.0	279	39	20	76
延岡	2	58	29.0	56	28.0	45	11	1	1
計	30	3,411	113.7	2,223	74.1	1,901	322	287	901
串間酪	12	649	54.1	403	33.6	339	64	73	173
総計	196	12,826	65.4	8,810	44.9	7,538	1,272	1,237	2,779
令和3年8月1日	201	12,535	62.4	8,951	44.5	7,650	1,301	1,112	2,472
増減	▲5	291	3.1	▲141	0.4	▲112	▲29	125	307
前年比	97.5	102.3	104.9	98.4	100.9	98.5	97.8	111.2	112.4

配合飼料価格改定の推移について(令和4年10~12月期)



1. 主要因

- ①とうもろこしのシカゴ定期は、アメリカ産地で生育に適した天候になったことから、7月には600セント／ブッシュル前後まで下落した。その後、アメリカ産地の高温乾燥などによる作柄悪化懸念から堅調に推移しており、現在は680セント／ブッシュル前後で推移している。
今後は、世界的な需給の引き締まりが継続していること、アメリカ産新穀の生産量の減少懸念などから、相場は堅調に推移するものと見込まれる。
- ②大豆粕のシカゴ定期は、アメリカ産地の高温乾燥による大豆の作柄悪化懸念から、8月には500ドル／トン前後まで上昇。その後、降雨による大豆の作柄改善期待から下落し、現在は460ドル／トン前後で推移している。
国内大豆粕価格は、シカゴ定期の上昇及び為替の円安により、値上がりが見込まれる。

2. 海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、原油相場の下落や、中国向け鉄鉱石や石炭の輸送需要の減少などにより軟調に推移し、現在は60ドル／トン前後で推移している。
今後は、北米産新穀の輸出が本格化することから、海上運賃は底堅く推移するものと見込まれる。

全国全畜種総平均(全農系)トン当たり±0円の据え置きとし、銘柄別に決定する。

「酪農危機を突破するための全国酪農民緊急特別集会」

令和4年9月7日に日本酪農政治連盟が東京・永田町自民党本部で「酪農危機を突破するための全国酪農民緊急特別集会」を開催しました。本県からは、宮崎県酪農協議会を代表して、石川会長、徳満副会長、加藤副会長、青年女性部を代表して、田中会長、長友副会長が参加しました。

集会では、ブロック代表者要請が行われ、4名の代表者が酪農生産現場の窮状を訴えました。また、緊急特別要請として、「購入粗飼料価格の高騰を受ける酪農経営に対する支援」、「高騰する配合飼料価格に対する適切な対応、支援の継続」、「上昇している(化学)肥料の価格に対する適切な対応、支援」を採択し、政府・与党へ支援を求めていく事を決定しました。

集会に併せて、本県選出国會議員(江藤議員、古川議員、武井議員、松下議員、長峯議員)へ直接要請活動を行いました。出張や政務多忙のため、直接要請することは叶いませんでしたが、秘書を通じて要請を行いました。

要請内容は、上記の特別要請に加え、「配合飼料価格安定基金制度、肉用牛子牛生産者補給金制度等の適切な運用」、「自給飼料増産のためのクラスター事業等の拡充」の対応・支援を求めました。他にも、生乳需給安定や、農業に対する収入保障制度等についても要求しました。

その後、政府は畜産・酪農の緊急対策として、配合飼料の高騰対策に430億円、酪農対策として、74億円を支出する事を決定しました。

引き続き、この難局を乗り越えるべく酪政活動を行って参りますので、ご理解、ご協力お願い致します。



江藤議員室



古川議員室



松下議員室



長峯議員室

牛乳料理の紹介

チーズモンブラン



延岡工業高等学校 岩切 愛花

<作り方>

- シイラに塩・こしょうをふって酒を入れる。600Wの電子レンジで2~4分加熱してほぐす。
- アボカドをつぶして塩こしょう、レモン汁、オリーブオイルを加えて混ぜる。
- じゃがいもの皮をむいて、水大さじ2を加えて600Wの電子レンジで5分加熱する。
やわらかくなったらつぶして、塩こしょう、牛乳を加える。
- パンをセルクルでくり抜く。
- クリームチーズにへべす果汁を加えて混ぜ、チーズクリームを作る。
- パンの上に、じゃがいも、アボカド、シイラをのせる。
- チーズクリームを上から絞る。



<ポイント>

- 家にあるもので簡単にできる。

<材料4人分の分量>

・牛乳	25ml
・クリームチーズ	100 g
・シイラ	150 g
・アボカド	1個
・じゃがいも	2個
・酒	大さじ2
・塩こしょう	少々
・レモン汁	小さじ1/2
・オリーブオイル	小さじ1
・へべす果汁	大さじ1
・サンドイッチパン	4枚

dairy 南日本酪農協同株式会社

ミルクでつなぐ明日の笑顔



農学部 ナンノ教授のひとりごと

ボローニャ紀行 – その3

ボローニャ到着の翌日午前にパルミジャーノ・レッジャーノチーズの製造現場を視察する機会を得た。10数年来の付き合いがあり、友人でもあるイタリア人獣医師のDr. Giovanni Gnemmi(以下、ジョバンニ)が、コンサルタントとして関わっている酪農場がボローニャ近郊にあるとのこと。ちなみに彼の現住所はスペインのサラゴサであり、ボローニャまで車で14時間以上を要するのだが、年に2、3度は訪問しているらしい。さすがヨーロッパ、国境のハードルが低い。そのボローニャ近郊の酪農場がチーズ工場を併設していることで、ジョバンニの案内で見学させてもらうことにした。パルミジャーノ・レッジャーノという名称は、パルマとレッジョ・エミリアという都市名に由来する。ボローニャを含めたイタリア北部の300数十の農場で生産された牛乳を原材料として、製造、品質保証されたチーズだけがパルミジャーノ・レッジャーノの名で呼ばれることを許されるらしい。

訪問した農場はFATTORIA SAN ROCCO(サンロッコ農場)といい、小規模ながら伝統的な製法を守っている。地産地消を重んじる、いかにもイタリアらしい場所であった。パルミジャーノ・レッジャーノは前日夕方の搾乳分と当日朝の搾乳分の生乳を半分ずつ使う。前日夕に搾乳した生乳を翌朝まで寝かせることで表面に浮いた脂肪分を取り除き、容量約1000リットルの銅製の大きな丸釜に夕と朝の生乳を混ぜる。これに乳酸菌が入った前日のホエイをスターとして加え、そしてレンネット(凝乳酵素)を加えると固まってくる。米粒大に切りつつ煮ることで水分を飛ばし、硬いチーズの素となるカードを作る。この粒の大きさと水分量を見極めるのがチーズ職人の腕の見せ所なのだろう。ホエイを分離させたカードを型に詰めて成形し、飽和塩水に3週間ほど浸漬した後、最低12ヶ月間(通常は24ヶ月、さらに一部は36ヶ月以上)熟成をかけて、ようやく食卓に出る状態となる。

製造工程を一通り見せてもらった後、同工場にて試食をさせてもらった。熟成期間の違いで3種類(12、24、36ヶ月)用意してもらった。熟成を経るにつれて白い斑点が多く現れる。これはアミノ酸(チロ

南野 快

シン)の結晶で凝縮された旨み成分である。口に入れるとジャリジャリし、香りも強い。どれが一番美味しいと感じるかは人それぞれだが、36ヶ月物を堪能するお供としては、それに負けない芳醇さを有するフルボディの赤ワインがベストチョイスだと思う。

そう言えば、納豆も長期間保存しておくと白い粒が出現するが、これもチロシンの結晶だ。納豆の場合、豆自体が固くなり風味が損なわれるということで賞味期間を設けているのだろうが、少しジャリジャリした納豆も私は嫌いではない。



出来上がったパルミジャーノ・レッジャーノは直径42cm、厚さ21cmが1個の大きさで、重量は約35kg。これを半分の厚さにカットしたのが写真である。縦にPARMIGIANO REGGIANOと刻印されている。横に大きくGIU 2020とあるのは2020年6月という意味で、この刻印を見れば24ヶ月の熟成を経たチーズであることが分かる。



試食時に出された3種類のパルミジャーノ・レッジャーノ。右上のやや小さくカットされているのが12ヶ月、左上が24ヶ月、下が36ヶ月物である。

55年間の想いを込めて

ありがとうございます



この半世紀、酪農情勢は目まぐるしく変化してきました。そんな中でも、カーフトップは生産者の皆さんの温かいご支援に支えられながら55年も歩み続けることができました。55年間の感謝と想いを胸に、これからもカーフトップは皆さんと未来をつなぐ架け橋として飛躍していきます。



全国酪農業協同組合連合会



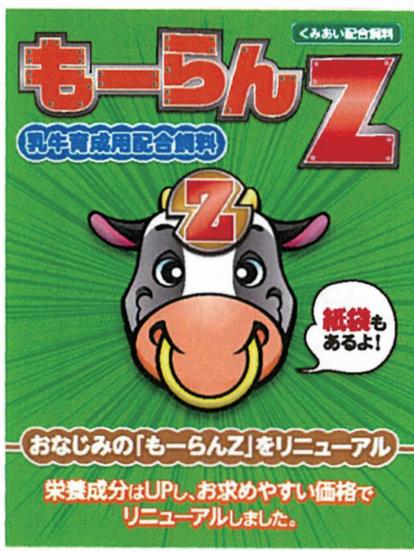
「さいしょのミルク」 (初乳代用乳)

1. 嗜好性・溶解性にこだわり
2. 免疫グロブリン大幅UP

保証成分値

粗蛋白質	TDN	免疫グロブリン
50.0%以上	95.0%以上	80 g/袋 (業界最高*)

*当方調べ

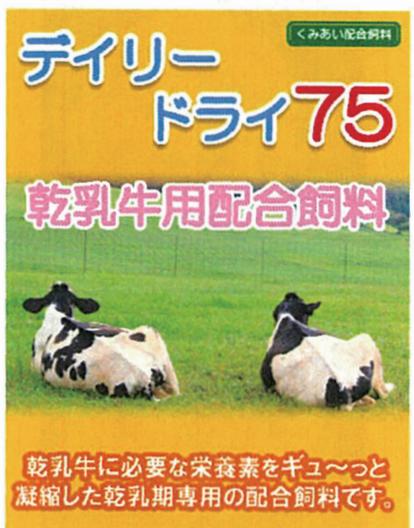


「もーらんZ」 (育成牛用)

1. 利用性の高い有機ミネラルを配合
2. 育成牛の腹づくりに機能性成分を添加
3. 紙袋設定もあり

保証成分値

粗蛋白質	粗脂肪	カルシウム	TDN
18.0%以上	2.0%以上	0.50%以上	70.0%以上



「ディリードライ75」 (乾乳牛用)

1. 乾乳牛に最適なバランス
2. バイオスタンパク質を配合
3. セレン・マグネシウム・有機ミネラル・ビタミンを強化

保証成分値

粗蛋白質	粗脂肪	カルシウム	TDN
19.0%以上	1.5%以上	0.05%以上	75.5%以上